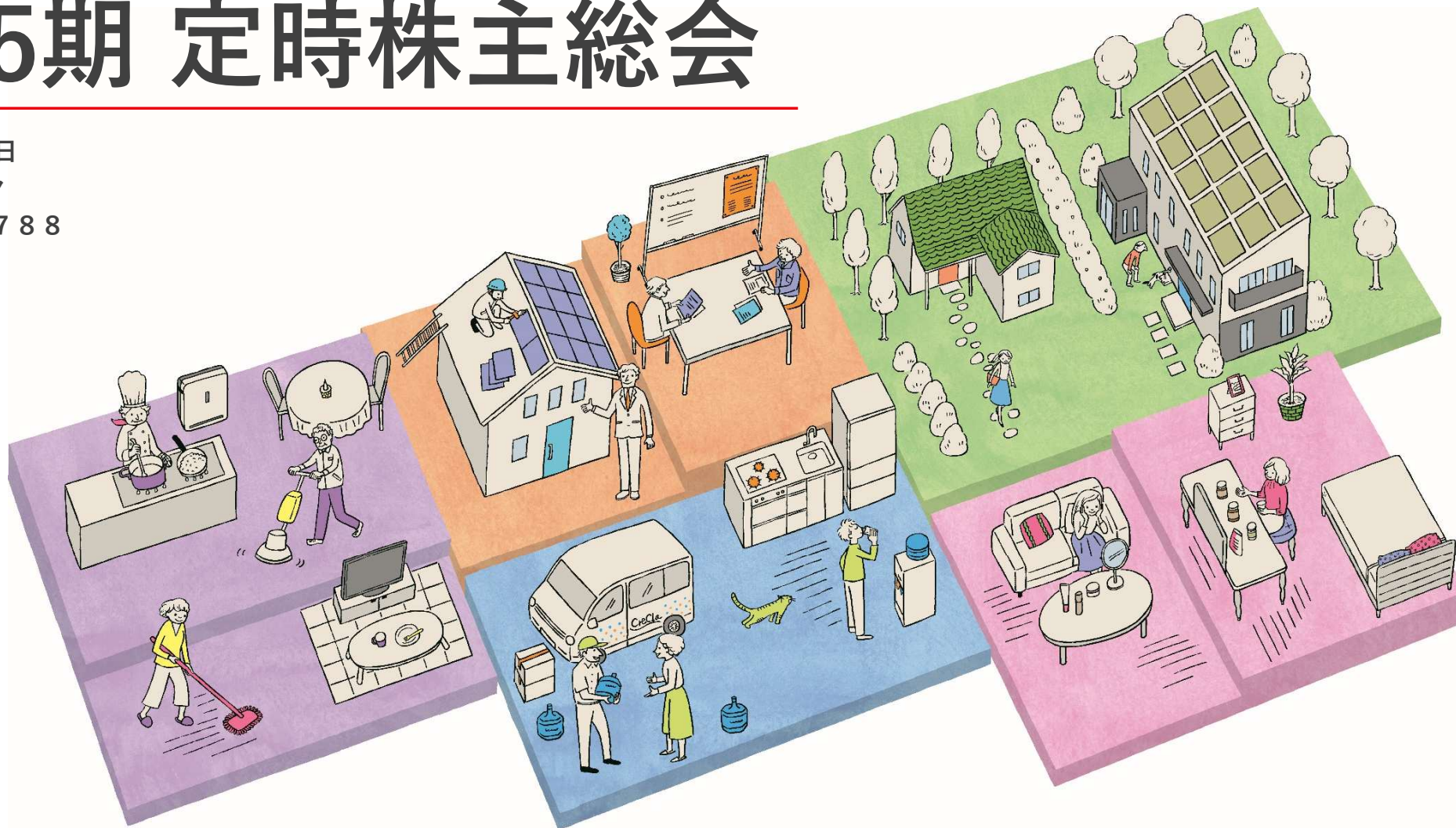


第55期 定時株主総会

2026年6月26日
株式会社ナック
証券コード 9788



1. 事業報告



(1) クリクラ事業



※「たまひよ赤ちゃんグッズ大賞2026」とは、たまひよ読者のママ・パパ2062名による「実際に使ってよかった」と思う商品・サービスに関するアンケート調査の結果をランキング形式で発表する企画です。(2025年8月-9月調査/WEBメディア「たまひよ」掲載)



※ 2025年12月Anetis運営事務局調べ



feel free



2025年 GMO顧客満足度ランキング 浄水型ウォーターサーバー コスパのよさ(月額料金の安さ) 第1位



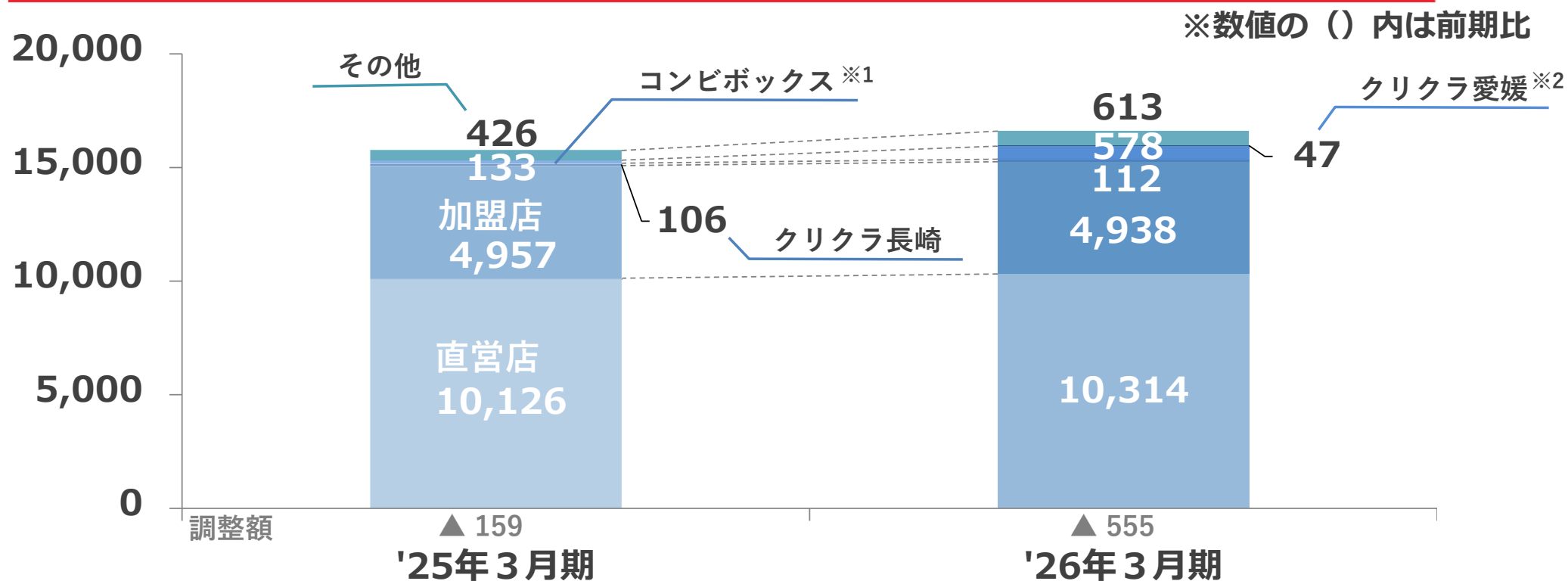
1. 事業報告



(百万円)

(※1) M&Aにより子会社化 (2025年1月より連結) (※2) M&Aにより子会社化 (2026年1月より連結)

売上高	15,591	16,050 (+ 2.9%)
営業利益	1,650	1,846 (+ 11.9%)



1. 事業報告

売上高

直営部門

↑ 増加

- ・ 価格改定に伴う一時的な解約数の増加
- ・ 酷暑の影響で顧客単価が増加

加盟店部門

↓ 微減

- ・ サーバー及びボトル容器の販売数増加
- ・ 前年のプラント機器販売の反動減

その他

↑ 増加

- ・ 浄水型ウォーターサーバーの顧客件数の増加

営業利益

- ・ ボトル消費量の増加による売上高の増加
- ・ 小型の浄水型ウォーターサーバー「putio」の販促効率が向上

⇒ 事業全体で増収増益

1. 事業報告

(2) レンタル事業



衛生環境を整える
DUSKIN



with



 **EARNEST**
総合ビル管理 株式会社アーネスト



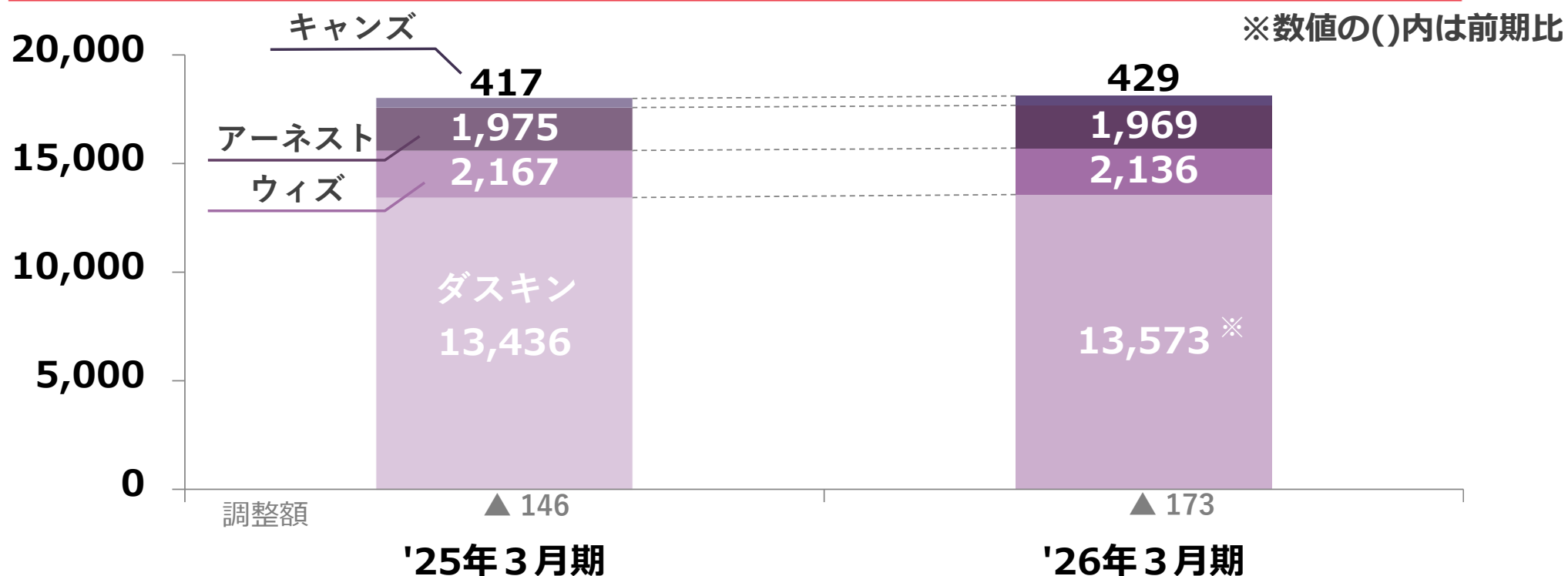
CAN'S[®]
Housing Maintenance

1. 事業報告



※ 2025年8月にM&Aにより子会社化した(有)ダスキンの4百万円を含む (百万円)
(2025年12月1日より(株)ナックに吸収合併済のため合算にて表記)

売上高	17,850	17,936 (+ 0.5%)
営業利益	1,552	1,483 (▲ 4.5%)



1. 事業報告

売上高

ダスキン事業

↑ 微増

・ ケアサービス、ヘルスレントにおける
新規出店店舗の収益性向上

ウィズ事業

↓ 微減

・ 顧客獲得の伸びが一服

アーネスト

↓ 微減

・ 受注数は堅調に推移
・ 採算性を踏まえた事業運営

キャンズ

↑ 微増

・ 法人営業部と連携で受注獲得が増加

営業利益

・ 新規出店や人件費、ガソリン費用、販売促進費の増加により
販売費及び一般管理費が増加

⇒ 事業全体で増収減益

(3) 建築コンサルティング事業



Think Tank For Construction
NAC

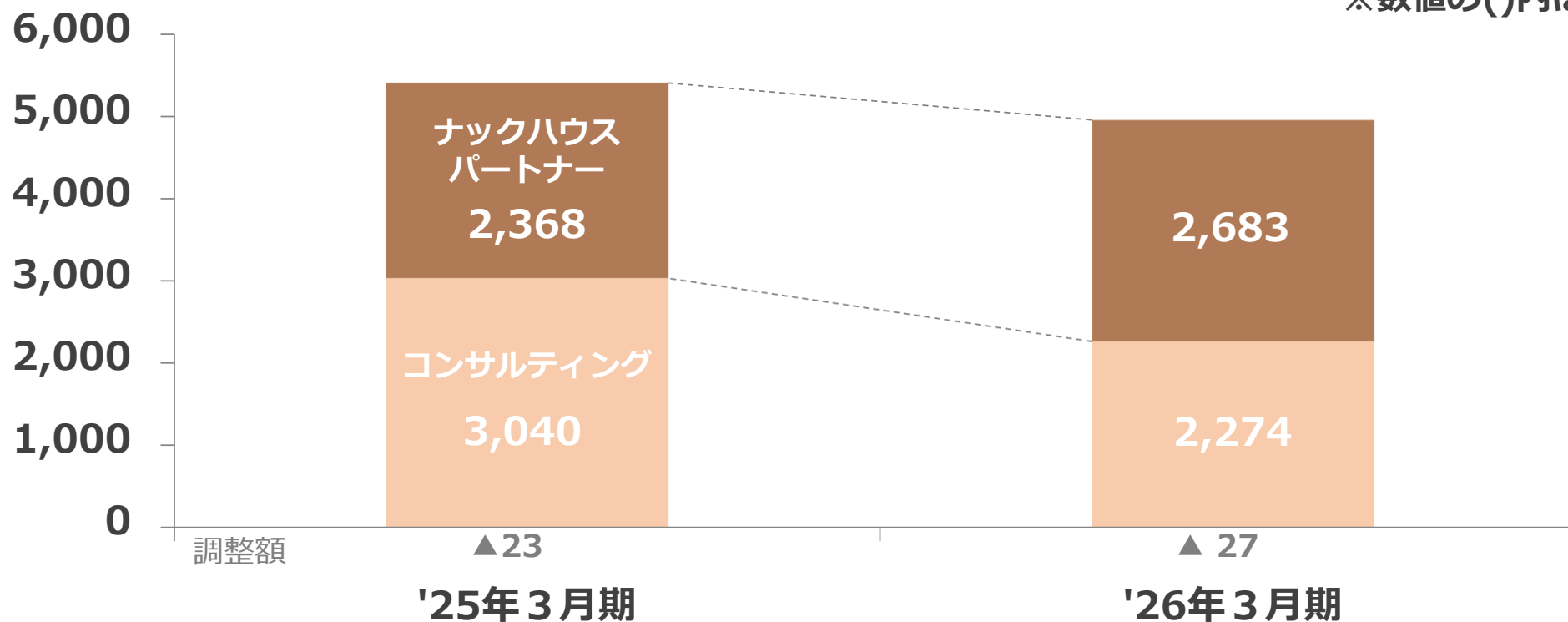



NAC HAUS Partner

1. 事業報告

売上高	5,385	4,930 (▲ 8.5%)
営業利益	401	92 (▲ 76.9%)

※数値の()内は前期比



1. 事業報告

売上高

コンサルティング部門 ↓減少

- ・受注減少、法改正における建築コスト増加や工期延長により地場工務店の経営状況が悪化
- ・補助金対象商品の受注獲得に注力も、補助金採択率が大幅に低下

ナックハウスパートナー ↑増加

- ・住宅ネットワーク事業において、加盟店での住宅着工が増加

営業利益

- ・売上高総利益率の高い建築コンサルティング部門での売上高減少の結果、大幅に減少

⇒事業全体で減収減益

(4) 住宅事業



KDI-HOME

Kindness, Development, Integrity



 株式会社 **ジェイウッド**



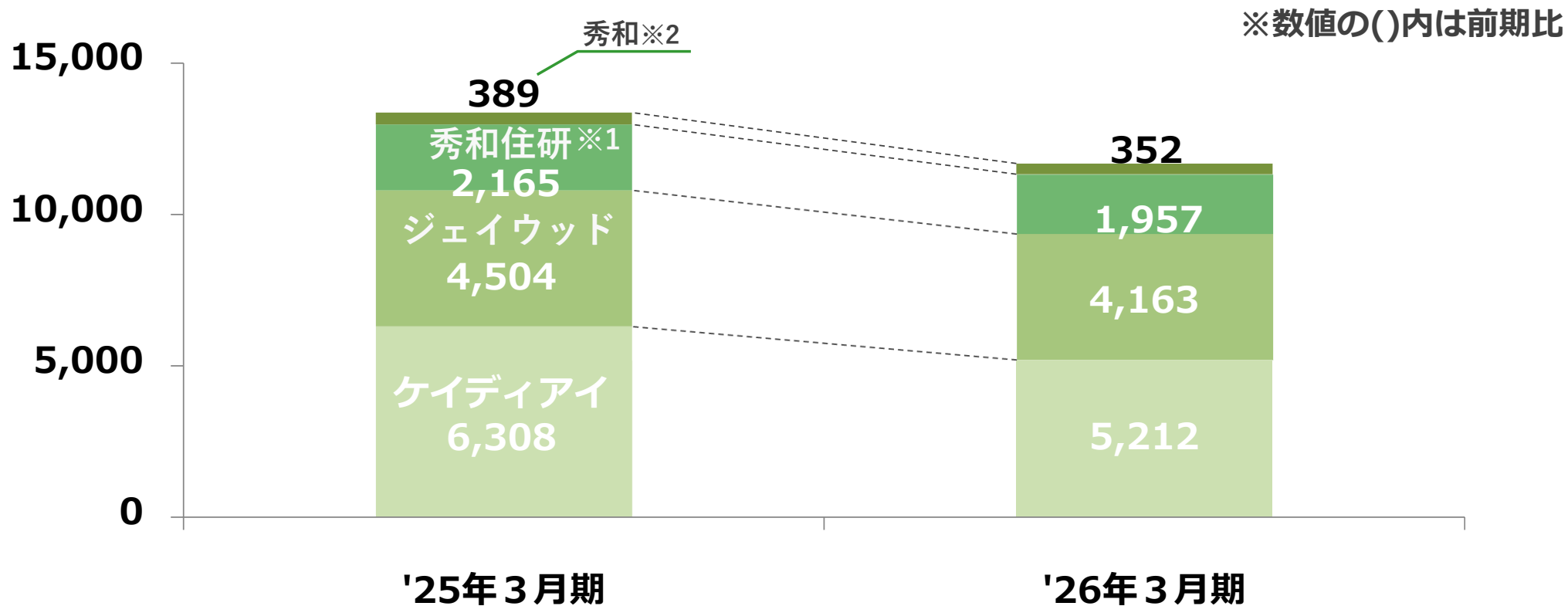
人にやさしい住まい。
SHUWA
秀和住研

1. 事業報告



(※1) M&Aにより子会社化 (2024年6月より連結) (百万円)
(※2) 秀和住研の完全子会社

売上高	13,368	11,686 (▲ 12.6%)
営業利益	400	278 (▲ 30.5%)



1. 事業報告

売上高

ケイディアイ



減少

- ・ 土地仕入の難化
- ・ 法改正に伴う着工遅れによる販売数減少

ジェイウッド



減少

- ・ 法改正に伴う工期延伸による完工棟数減少

秀和住研・秀和



減少

- ・ 受注棟数の減少

営業利益

- ・ 売上高減少に伴う損益悪化により前期比で大幅に減少

⇒ 事業全体で減収減益

(5) 美容・健康事業



jimos
one to only one



ベルエアー



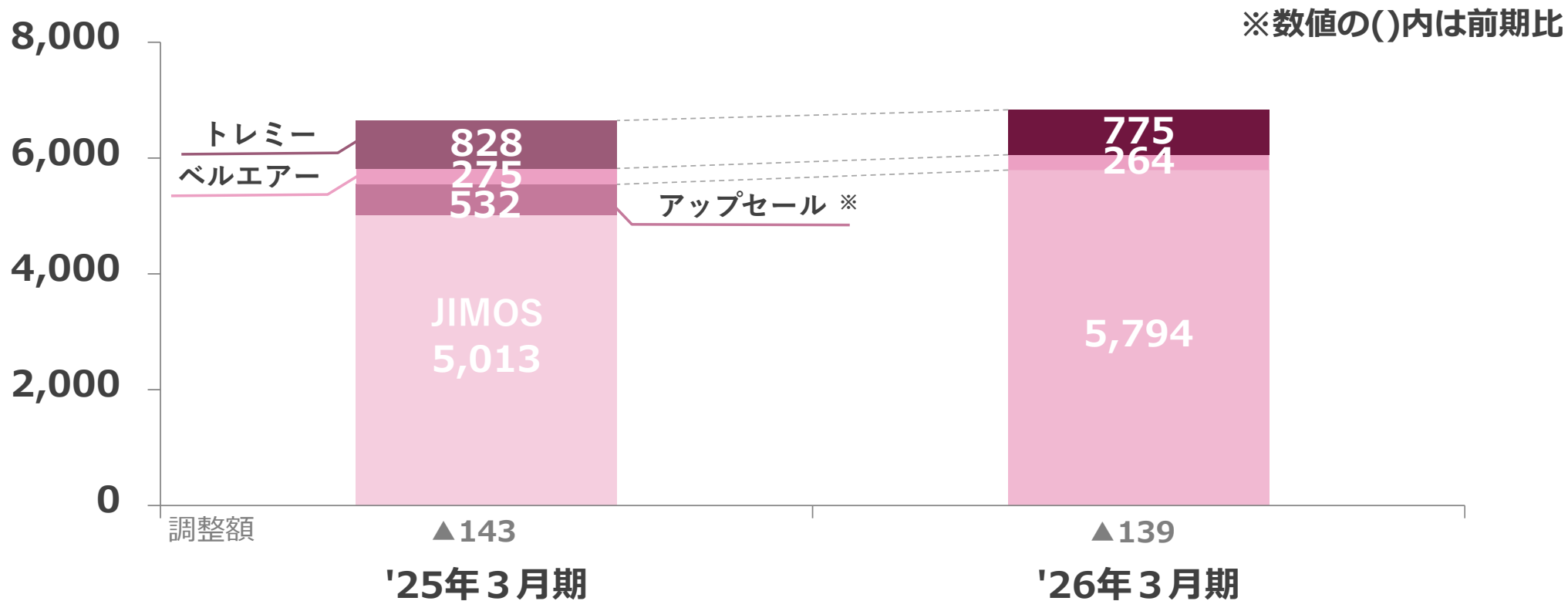
 **TOREMY**

1. 事業報告



※2025年4月1日に(株)JIMOSが(株)アップセールを吸収合併
(アップセール事業部として事業存続) (百万円)

売上高	6,506	6,694 (+ 2.9%)
営業利益	335	247 (▲ 26.0%)



1. 事業報告

売上高

JIMOS



増加

- ・「MACCHIA LABEL」「SINN PURETÉ」に重点を置いた広告販促施策が奏功

ベルエアー



微減

- ・会員の高齢化による販売数の伸び悩み

トレミー



減少

- ・主要顧客からの受注が減少

営業利益

- ・JIMOSでの売上高拡大を目的とした広告販促への積極投資による一時的な減益に加え、(株)トレミーの売上高減少により減少

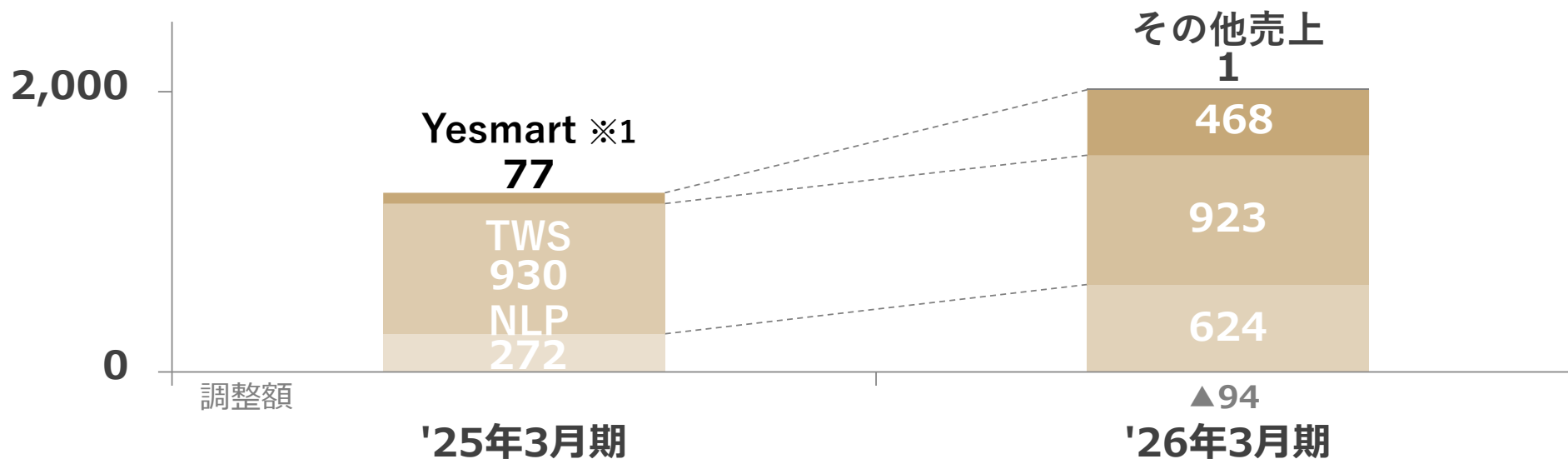
⇒ 事業全体で増収減益

1. 事業報告

(6) 新たな取り組み



※1 Yesmart事業：2024年12月より事業開始



1. 事業報告

売上高

Yesmart（イエスマート）事業

↑ 増加

- ・ 当期 新たに4店舗出店

TOMOEワインアンドスピリッツ

↓ 微減

- ・ 大口顧客への販売が減少

ナックライフパートナーズ

↑ 増加

- ・ 当期に新たに6店舗目となる「買取大吉」の出店を行い、出店数拡大に伴い業績は順調に推移しており前期比で大幅に増加

営業損失

- ・ 新たな取組みとして立ち上げフェーズにあるため、費用が先行

NAC

1. 事業報告



第55期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	'26年 3月末	構成比	'25年 3月末	構成比	増減額
流動資産	24,891	64.0 %	23,736	62.2 %	+ 1,154
固定資産	13,987	36.0 %	14,454	37.8 %	▲ 467
繰延資産	—	—	—	—	—
資産合計	38,878	100.0 %	38,191	100.0 %	+ 687
流動負債	11,825	30.4 %	11,623	30.4 %	+ 202
固定負債	3,937	10.1 %	4,173	10.9 %	▲ 236
負債合計	15,762	40.5 %	15,796	41.4 %	▲ 33
株主資本	23,817	61.3 %	23,064	60.4 %	+ 752
その他の包括利益累計額	▲ 701	▲ 1.8 %	▲ 669	▲ 1.8 %	▲ 31
純資産合計	23,115	59.5 %	22,394	58.6 %	+ 721
負債・純資産合計	38,878	100.0 %	38,191	100.0 %	+ 687

1. 事業報告



第55期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	'26.3月期	'25.3月期	増減率
売上高	58,919	59,791	▲ 1.5 %
売上総利益	28,380	28,137	+ 0.9 %
(売上総利益率)	48.2 %	47.1 %	+ 1.1 pt
販管費	25,896	25,130	+ 3.0 %
営業利益	2,483	3,007	▲ 17.4 %
(営業利益率)	4.2 %	5.0 %	▲ 0.8 pt
営業外損益	2	11	▲ 87.5 %
経常利益	2,485	3,019	▲ 17.7 %
特別損益	▲ 45	▲ 617	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,631	1,365	+ 19.5 %

1. 事業報告



第55期 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当 期 首 残 高	6,729	3,393	15,141	▲ 2,199	23,064
当 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当			▲ 924		▲ 924
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益			1,631		1,631
自 己 株 式 の 取 得		7		34	41
自 己 株 式 の 処 分			4		4
新規連結子会社による 変 動					
株主資本以外の項目の 当 期 変 動 額 (純 額)					
当 期 変 動 額 合 計	-	7	710	34	752
当 期 末 残 高	6,729	3,400	15,852	▲ 2,165	23,817

1. 事業報告



第55期 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	その他の包括利益累計額					純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	繰延ヘッジ損益	その他包括利益 累計額合計	
当 期 首 残 高	180	▲ 860	10		▲ 669	22,394
当 期 変 動 額						
剰 余 金 の 配 当						▲ 924
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益						1,631
自 己 株 式 の 取 得						
自 己 株 式 の 処 分						41
新規連結子会社による 変 動					0	4
株主資本以外の項目の 当 期 変 動 額 (純 額)	▲ 16		▲ 10	▲ 4	▲ 31	▲ 31
当 期 変 動 額 合 計	▲ 16	-	▲ 10	▲ 4	▲ 31	721
当 期 末 残 高	163	▲ 860	-	▲ 4	▲ 701	23,115

1. 事業報告



第55期 個別貸借対照表 / 個別損益計算書

(単位：百万円)

(単位：百万円)

個別貸借対照表	'26年 3月末
流動資産	16,919
固定資産計	18,927
繰延資産	—
資産合計	35,846
流動負債	9,068
固定負債	3,207
負債合計	12,276
純資産合計	23,570
負債・純資産合計	35,846

個別損益計算書	'26年 3月期
売上高	34,123
営業利益	1,556
経常利益	1,585
当期純利益	883

2. 第56期以降の施策



第56期以降の施策

2. 第56期以降の施策

クリクラ

- ブランド・コミュニケーション戦略の刷新に基づくプロモーションの強化
- 複数年プラン導入を中心とした顧客定着施策によるLTVの向上
- システムインフラ「CrePF（クリップ）」の加盟店導入拡大を推進し、デジタル化による新しいビジネスモデルの構築



CreCla

feel free



2. 第56期以降の施策

レンタル

ダスキン事業

- ・新規出店やM&Aによる営業エリアの拡大
- ・配送ルート最適化による配送効率の向上

ウィズ事業

顧客に合わせた多種多様な副商材の営業活動を強化

アーネスト

人手不足を補う外国人スタッフの教育とインバウンド需要の取引強化

キャンズ

ダスキン事業の法人営業部と連携し受注・活動エリアの拡大



衛生環境を整える
DUSKIN



with



EARNEST
総合ビル管理 株式会社アーネスト



CAN'S
Housing Maintenance

2. 第56期以降の施策

建築コンサルティング

建築コンサルティング部門

- 補助金・助成金利用による導入負担の軽減とAIやDXツールの活用支援の強化
- 他業界への販売を視野に入れた汎用性の高いAI商品を新たに開発

ナックハウスパートナー

- 外部協力先とのパートナーシップ強化による新規加盟店開拓、受注獲得
- ワンストップサービス強化による差別化の推進

Think Tank For Construction
NAC
コンサルティング部門



▶ 住宅ネットワーク事業



▶ スマートエネルギー事業

NAC HAUS Partner

2. 第56期以降の施策

住宅事業

ケイディアイ

- 仕入重点エリアの用地仕入への注力

ジェイウッド 秀和住研

- 大規模リフォーム、収益物件、店舗、リゾート建築などの新ブランド確立



KDI-HOME
Kindness, Development, Integrity



株式会社 ジェイウッド



人にやさしい住まい。
SHUWA
秀和住研

美容・健康事業

JIMOS

- 「MACCHIA LABEL」へ広告投資による新規顧客獲得拡大
- 「SINN PURETÉ」の国内店舗展開を拡大

トレミー

- 各部門の連携を強めシナジー効果の向上
- 医薬部外品を含む商品ラインアップの強化



jimos
one to only one



TOREMY

2. 第56期以降の施策

新たな取組み

Yesmart（イエスマート）事業

- 競合との差別化を図る商品ラインアップの開拓および仕入コストの削減
- 売場の進化と店内イベント・キャンペーンの強化による集客力向上

TOMOEワインアンドスピリッツ

- オンライン注文の利用拡大推進による業務効率化
- 飲食業を中心とした業務用マーケットの開拓

ナックライフパートナーズ

- 中古品の買取を行う「買取大吉」事業の新規出店
- 新たな終活ビジネスなどを検討



3. 第56期の見通し



第56期の見通し

(単位：百万円)

	'27.3月期 予想	'26.3月期 実績	増減率
売上高	63,500	58,919	+ 7.8 %
営業利益	2,800	2,483	+ 12.7 %
経常利益	2,800	2,485	+ 12.6 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,700	1,631	+ 4.2 %
年間配当	22円	22円	—
EPS	40.67円	39.03円	+ 1.64 円

4. 長期ビジョン2035

2035年に目指すナックグループの姿

ラストワンマイルを最大限に活用してLTV最大化

2024/3期

売上高544億円
営業利益率4.2%

2035/3期

売上高1,000億円
営業利益率8%

100万軒超のお客様
(ミリオンカスタマー)との
定期的な取引

魅力ある商品拡充で
顧客拡大・顧客単価増加

LTV最大化
サイクル

定期訪問を通じて
顧客ニーズを察知

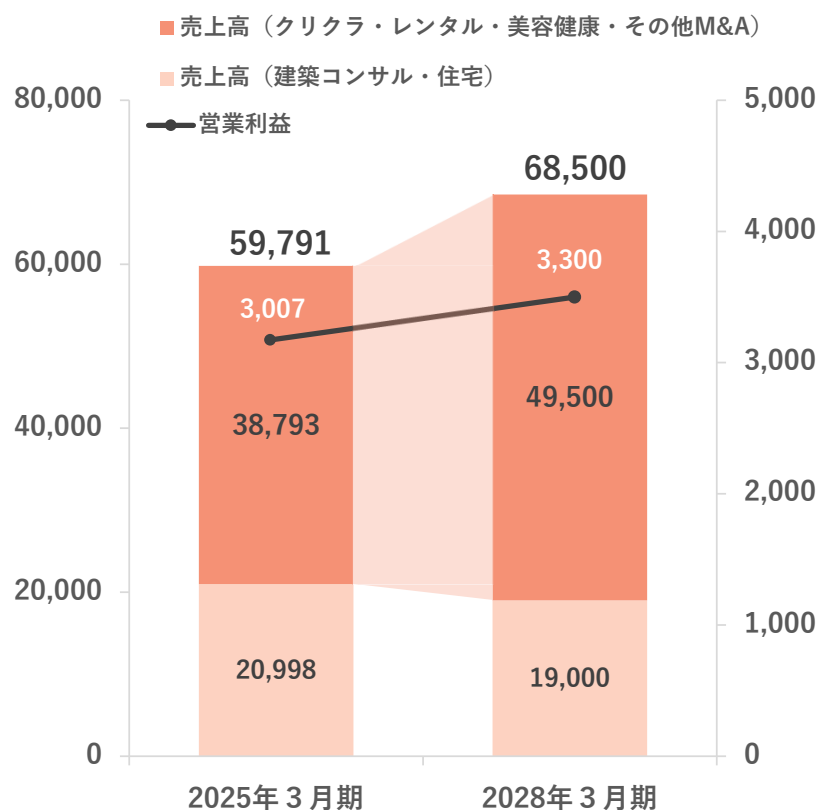
自社配送網を活用し
自社顧客へ販売

ニーズに合わせた
商品仕入・開発

5. 中期経営計画2028



本中期経営計画は3カ年の投資フェーズの位置づけ
⇒売上高増加に対して利益は横ばいで推移



重点施策

- クリックラ**
 顧客獲得のための販促投資・広告投資
 安心安全の追求のため、プラント設備への投資
- レンタル**
 ダスキン事業の営業エリア拡大のため、積極的に新規エリアへの出店を行う
- 美容・健康**
 JIMOSにて、新規顧客獲得や新たに事業の軸となる新製品創出のため積極的に販促投資・広告投資を行う
- 全社・その他**
 ・既存事業の枠にとらわれない新規事業やM&Aを検討
 ・新たな取組みも推進中

NAC

第55期 定時株主総会

2026年6月26日
株式会社ナック
証券コード 9788

